

◎千九百六十年の海上における人命の安全のための国際条約

(略称) 一九六〇年海上人命安全条約

昭和三十五年六月十七日 ロンドンで作成
昭和四十年五月二十六日 効力発生

昭和三十八年三月二十九日 国会承認

昭和三十八年四月十一日 受諾の内閣決定

昭和三十八年四月二十三日 受諾書寄託

昭和四十年一月二十日 公布及び効力発生の告示
(昭和四十年条約第一号)

昭和四十年五月二十六日 わが国について効力発生

目次

前	又	ページ
第一条	本条約及び附属規定の実施	五一
第二条	適用を受ける船舶	五八
第三条	法律、規則	五九
第四条	不可抗力の場合	六〇
第五条	非常の際の人員の輸送	六〇

規則

第一章

一般規定

A 部

適用、定義等

第一規則 適用

第二規則 定義

第三規則 適用除外

第四規則 免除

第五規則 同等物

B 部

検査及び証書

第六規則 検査

第七規則 旅客船の最初の検査及びその後の検査

第六條 戦争の場合における停止

第七條 従前の条約

第八條 合意によつて作成された特別規則

第九條 改正

第十條 署名及び受諾

第十一條 効力発生

第十二條 廃棄

第十三條 地域

第十四條 登録

末 又

六〇
六一
六二
六二
六四
六四
六五
六五
六五
六六
六六
七五
七五
七五
七五
七六
七七
七七
七八
七八
七八
七八

第八	規則	貨物船の救命設備その他の設備の検査	八一
第九	規則	貨物船の無線設備の検査	八二
第十	規則	貨物船の船体、機関及び設備の検査	八二
第十一	規則	検査後における状態の維持	八三
第十二	規則	証書の発行	八三
第十三	規則	他の政府による証書の発行	八四
第十四	規則	証書の有効期間	八五
第十五	規則	証書の様式	八五
第十六	規則	証書の揭示	八六
第十七	規則	証書の承認	八七
第十八	規則	証書についての緩和	八七
第十九	規則	監督	八七
第二十	規則	特権	八八
C部	海難		八八
第二十一	規則	海難	八八
第二章	構造		八九
A部	総則		八九
第一	規則	適用	八九
第二	規則	定義	九一
B部	区画及び復原性		九三
第三	規則	可浸長	九三

第四規則	浸水率	九四
第五規則	区画室の可許長	九七
第六規則	区画に関する特別規則	一〇五
第七規則	損傷状態における船舶の復原性	一〇八
第八規則	バラスト	一一三
第九規則	船首尾隔壁、機関区域隔壁、軸路等	一一三
第十規則	二重底	一一四
第十一規則	区画满载喫水線の指定、標示及び記載	一一六
第十二規則	水密隔壁等の構造及び最初の試験	一一八
第十三規則	水密隔壁における開口	一一九
第十四規則	限界線の下方の甲板における開口	一二九
第十五規則	水密戸、舷窓等の構造及び最初の試験	一三四
第十六規則	水密甲板、トランク等の構造及び最初の試験	一三四
第十七規則	限界線の上方の水密性	一三五
第十八規則	旅客船のビルジ排水装置	一三六
第十九規則	旅客船及び貨物船に対する復原性資料	一四三
第二十規則	損傷制御図	一四四
第二十一規則	水密戸等の標示、定期的な操作及び検査	一四五
第二十二規則	航海日誌の記入	一四六
C 部	機関及び電気設備	一四六

第二十三規則	總則	一四六
第二十四規則	旅客船における主電源	一四七
第二十五規則	旅客船における非常電源	一四七
第二十六規則	貨物船における非常電源	一五〇
第二十七規則	電撃、火災その他の電氣的な危険の予防手段	一五二
第二十八規則	後進の手段	一五五
第二十九規則	操舵装置	一五六
第三十規則	電動操舵装置及び電動油圧操舵装置	一五八
第三十一規則	旅客船に使用する燃料油	一五九
第三十二規則	旅客船の非常設備の場所	一六〇
第三十三規則	船橋と機関室との間の通信	一六〇

D 部 防 火

第三十四規則	總則	一六〇
第三十五規則	定義	一六〇
第三十六規則	構造物（第一方式、第二方式及び第三方式）	一六二
第三十七規則	主垂直区域（第一方式、第二方式及び第三方式）	一六七
第三十八規則	A級仕切における開口（第一方式、第二方式及び第三方式）	一六九
第三十九規則	主垂直区域内の隔壁（第一方式及び第三方式）	一七〇
第四十規則	居住区域と機関区域、貨物区域及び業務区域との隔離	一七一

(第一方式、第二方式及び第三方式)	一七四
第四十一規則 甲板床張(第一方式、第二方式及び第三方式)	一七四
第四十二規則 居住区域及び業務区域内の階段の保護(第一方式、第二方式及び第三方式)	一七四
第四十三規則 居住区域及び業務区域内の昇降機(旅客用及び業務用)、採光用及び通風用の垂直トランク等の保護(第一方式、第二方式及び第三方式)	一七七
第四十四規則 制御場所の保護(第一方式、第二方式及び第三方式)	一七八
第四十五規則 貯蔵品室等の保護(第一方式、第二方式及び第三方式)	一七八
第四十六規則 窓及び舷窓(第一方式、第二方式及び第三方式)	一七九
第四十七規則 通風装置(第一方式、第二方式及び第三方式)	一八〇
第四十八規則 構造の細目(第一方式及び第三方式)	一八一
第四十九規則 雑項目(第一方式、第二方式及び第三方式)	一八二
第五十規則 映画フィルム(第一方式、第二方式及び第三方式)	一八四
第五十一規則 自動スプリンクラ、火災警報及び火災探知装置(第二方式)	一八四
第五十二規則 自動火災警報及び火災探知装置(第三方式)	一八四
第五十三規則 三十六人以下の旅客を輸送する旅客船	一八五
第五十四規則 総トン数四千トン以上の貨物船	一八六
五部 旅客船及び貨物船の火災探知及び消火	一八七

第五十五規則	定	義	一八八
第五十六規則	ポンプ、送水管、消火栓及びホース		一八八
第五十七規則	消火器（持運び式及び非持運び式）		一九五
第五十八規則	機関区域及び貨物区域に対する鎮火性ガス又は蒸気		一九六
第五十九規則	旅客船における自動スプリンクラ装置		一九九
第六十規則	固定式 ^泡 소화装置		二〇一
第六十一規則	火災探知装置		二〇二
第六十二規則	機関室及びボイラ室に対する固定式加圧水噴霧装置		二〇三
第六十三規則	消防員装具		二〇四
第六十四規則	旅客船に対する要件		二〇五
第六十五規則	貨物船に対する要件		二一一
第六十六規則	消火設備の迅速な利用		二一七
第六十七規則	代用物の容認		二一七
F 部	一般的火災予防手段		二一八
第六十八規則	脱出設備		二一八
第六十九規則	機械停止装置及び燃料油吸入管遮断装置 ^{しゃ}		二二〇
第七十規則	火災制御図		二二一
第三章	救命設備等		二二二
第一	規則		二二二
適用			二二三
A 部	総則		二二三

第二規則	定義	二二三
第三規則	免除	二二四
第四規則	救命艇、救命いかだ及び救命浮器の迅速な利用	二二五
第五規則	救命艇の構造	二二六
第六規則	救命艇の容積	二二九
第七規則	救命艇の積載能力	二三二
第八規則	積載すべき発動機付救命艇の数	二三三
第九規則	発動機付救命艇の仕様	二三四
第十規則	発動機付救命艇以外の機械推進装置付救命艇の仕様	二三五
第十一規則	救命艇の機装品	二三六
第十二規則	救命艇機装品の定着	二四〇
第十三規則	救命用の端艇及びいかだのための持運び式無線装置	二四〇
第十四規則	発動機付救命艇の無線設備及び探照燈	二四一
第十五規則	膨張式救命いかだの要件	二四二
第十六規則	固型救命いかだの要件	二四六
第十七規則	膨張式救命いかだ及び固型救命いかだの機装品	二四八
第十八規則	救命いかだの使用についての訓練	二五〇
第十九規則	救命艇及び救命いかだへの乗込み	二五〇
第二十規則	救命艇、救命いかだ及び救命浮器の標示	二五二
第二十一規則	救命浮環の仕様	二五三

第二十二規則	救命胴衣	二五五
第二十三規則	救命索発射器	二五七
第二十四規則	船舶の遭難信号	二五七
第二十五規則	非常配置表及び非常措置	二五七
第二十六規則	招集及び訓練	二五九
B 部 旅客船		
第二十七規則	救命艇、救命いかだ及び救命浮器	二六一
第二十八規則	短国際航海に従事する船舶のダビット及び救命艇の容積に關する表	二六五
第二十九規則	救命艇、救命いかだ及び救命浮器の積付け及び取扱い	二六九
第三十規則	甲板、救命艇、救命いかだ等の照明	二七四
第三十一規則	救命艇及び救命いかだの配員	二七四
第三十二規則	資格のある救命艇手	二七五
第三十三規則	救命浮器	二七六
第三十四規則	備えるべき救命浮環の数	二七七
C 部 貨物船		
第三十五規則	救命艇及び救命いかだの数及び収容能力	二七八
第三十六規則	ダビット及び進水装置	二八一
第三十七規則	備えるべき救命浮環の数	二八五
第三十八規則	非常照明	二八五

第四章 無線電信及び無線電話

A 部 適用及び定義

第一 規則 適用

第二 規則 用語及び定義

第三 規則 無線電信局

第四 規則 無線電話局

第五 規則 第三規則及び第四規則の免除

B 部 聴守

第六 規則 聴守 無線電信

第七 規則 聴守 無線電話

C 部 技術的要件

第八 規則 無線電信局

第九 規則 無線電信設備

第十 規則 無線電信自動警急機

第十一 規則 方向探知機

第十二 規則 発動機付救命艇に取り付ける無線電信設備

第十三 規則 救命用の端艇及びいかだのための持運び式無線装置

第十四 規則 無線電話局

第十五 規則 無線電話設備

二八五

二八五

二八五

二八六

二八七

二八七

二八八

二八九

二八九

二九二

二九二

二九二

二九五

三〇四

三〇七

三〇八

三一〇

三一三

三一四

D 部 無線日誌

第十六規則 無線日誌

三一九

第五章 航行の安全

第一規則 適用

三二二

第二規則 危険通報

三二二

第三規則 危険通報に必要な情報

三二三

第四規則 気象業務

三二七

第五規則 氷の監視の業務

三二九

第六規則 氷の監視並びに管理及び経費

三三〇

第七規則 氷の附近における速力

三三二

第八規則 北太平洋航路

三三二

第九規則 遭難信号の濫用

三三四

第十規則 遭難通報—義務及び措置

三三四

第十一規則 信号燈

三三五

第十二規則 無線方向探知機

三三六

第十三規則 配員

三三六

第十四規則 航行援助施設

三三六

第十五規則 搜索及び救助

三三七

第十六規則 救命信号

三三七

第十七規則 水先人用はしご

三四二

第六章 穀類の運搬

第一	規則適用	三四四
第二	規定義	三四四
第三	荷造り	三四四
第四	満載の船倉及び区画室に対する積付け	三四五
第五	部分積載の船倉及び区画室に対する積付け	三四七
第六	縦通隔壁の要件の適用除外	三四九
第七	フィーダー	三四九
第八	共通積載	三五〇
第九	端部の荷繰り及び袋押え	三五一
第十	甲板間及び船楼内のばら積み穀類	三五一
第十一	部分積載の船倉及び区画室の数の制限	三五三
第十二	特別に適応させた船舶に対する積付け	三五三
第十三	水バラスト・タンク	三五五
第十四	袋入り穀類	三五五
第十五	穀類積載図	三五六
第十六	一定の航海に対する免除	三五七

第七章 危険物の運搬

第一	規則適用	三五七
第二	規則分類	三五八

第三	規則	包 装	三五九
第四	規則	表示及び標識	三六〇
第五	規則	書 類	三六〇
第六	規則	第四規則及び第五規則の規定の一時的な適用除外	三六一
第七	規則	積付けの要件	三六一
第八	規則	旅客船における火薬類	三六二
第八章	原子力船		三六三
第一	規則	適 用	三六三
第二	規則	他の章の規定の適用	三六三
第三	規則	免 除	三六三
第四	規則	原子炉装置の承認	三六三
第五	規則	原子炉装置の船内での使用に対する適合性	三六四
第六	規則	放射線に対する安全	三六四
第七	規則	安全説明書	三六四
第八	規則	操作手引書	三六五
第九	規則	検 査	三六五
第十	規則	証 書	三六五
第十一	規則	特別な監督	三六六
第十二	規則	海 難	三六七

附

錄

旅客船安全證書樣式	三六八
貨物船安全構造證書樣式	三七三
貨物船安全設備證書樣式	三七五
貨物船安全無線電話證書樣式	三七九
貨物船安全無線電信證書樣式	三八一
免除證書樣式	三八五
原子力旅客船安全證書樣式	三八七
原子力貨物船安全證書樣式	三九三

千九百六十年の海上における人命の安全のための
国際条約

アルゼンティン共和国、オーストラリア連邦、ベルギー王国、ブラジル合衆国、ブルガリア人民共和国、カメルーン、カナダ、中華民国、キューバ共和国、チエッコスロヴァキア共和国、デンマーク王国、ドミニカ共和国、フィンランド共和国、フランス共和国、ドイツ連邦共和国、ギリシャ王国、ハンガリー人民共和国、アイスランド共和国、インド共和国、アイルランド、イスラエル国、イタリア共和国、日本国、大韓民国、クウェイト、リベリア共和国、メキシコ合衆国、オランダ王国、ニュー・ジラランド、ノールウェー王国、パキスタン、パナマ共和国、ペルー共和国、フィリピン共和国、ポーランド人民共和国、ポルトガル共和国、スペイン国、スウェーデン王国、スイス連邦、ソヴィエト社会主義共和国連邦、アラブ連合共和国、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国、アメリカ合衆国、ヴェネズエラ共和国及びユーゴスラヴィア人民連邦共和国の政府は、合意により画一的な原則及び規則を設定することによつて、海上における人命の安全を増進することを希望し、

この目的が千九百四十八年の海上における人命の安全のための国際条約に代わる条約の締結により最も良く達成することができることを考慮し、

次のとおりその全権委員を任命した。

一九六〇年海上人命安全条約

INTERNATIONAL CONVENTION FOR THE SAFETY OF LIFE AT SEA, 1960

The Governments of the Argentine Republic, the Commonwealth of Australia, the Kingdom of Belgium, the United States of Brazil, the People's Republic of Bulgaria, Cameroon, Canada, the Republic of China, the Republic of Cuba, the Czechoslovak Republic, the Kingdom of Denmark, the Dominican Republic, the Republic of Finland, the French Republic, the Federal Republic of Germany, the Kingdom of Greece, the Hungarian People's Republic, the Republic of Iceland, the Republic of India, Ireland, the State of Israel, the Italian Republic, Japan, the Republic of Korea, Kuwait, the Republic of Liberia, the United Mexican States, the Kingdom of the Netherlands, New Zealand, the Kingdom of Norway, Pakistan, the Republic of Panama, the Republic of Peru, the Republic of the Philippines, the Polish People's Republic, the Portuguese Republic, the Spanish State, the Kingdom of Sweden, the Swiss Confederation, the Union of Soviet Socialist Republics, the United Arab Republic, the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland, the United States of America, the Republic of Venezuela, and the Federal People's Republic of Yugoslavia, being desirous of promoting safety of life at sea by establishing in common agreement uniform principles and rules directed thereto:

Considering that this end may best be achieved by the conclusion of a Convention to replace the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1948:

Have appointed their Plenipotentiaries, namely:—

アルゼンティン共和国

ロンドン所在アルゼンティン大使館付海軍武官
海運大佐 カルロス・A・サンチェス・サニョー
ド

アルゼンティン共和国海事局検査長官 マルコ
ス・H・C・カルゾラリ

アルゼンティン商船隊次長 ニコラス・G・パ
ラシオス

オーストラリア連邦

海運運輸省海運担当次官補 トーマス・ノリス

ベルギー王国

ロンドン駐在ベルギー特命全權大使 R・L・
ファン・メールベッケ

通信省海運局長 R・E・ファンクレネスト

ブラジル合衆国

ブラジル海軍参謀次長、ブラジル海運委員会代
表、海軍少将 ルイス・クロヴィス・デ・オリヴ
エイラ

ブルガリア人民共和国

ロンドン駐在ブルガリア特命全權公使 ゲオル
ギ・ペトロフ・ゼングイレコフ

運輸省海運局技師長、技師 ペトコ・ドコフ・
ドイノフ

カメルーン

海運局首席管理官(二等) シャルロ・サゲス

The Argentine Republic

Captain Carlos A. SANCHEZ SANUDO, Naval Attaché, Argentine
Embassy, London.
Prefect Inspector General Marcos H. C. CALZOLARI, National

Maritime Sub-Prefect of the Argentine Republic.
Mr. Nicolas G. PALACIOS, National Sub-Director of the Argentine
Merchant Navy.

The Commonwealth of Australia

Mr. Thomas NORRIS, Assistant Secretary (Marine), Department of
Shipping and Transport.

The Kingdom of Belgium

His Excellency M. R. L. VAN MEERBEKE, Belgian Ambassador
Extraordinary and Plenipotentiary at London.
Mr. R. E. VANCRAEYNESI, Director of Marine Administration,
Ministry of Communications.

The United States of Brazil

Rear Admiral Luis Clovis de OLIVEIRA, Deputy Chief of Naval
Staff, Brazilian Navy and Representative of Brazilian Merchant
Marine Commission.

The People's Republic of Bulgaria

His Excellency Mr. Georgi Petrov ZENGULEKOV, Bulgarian Envoy
Extraordinary and Minister Plenipotentiary at London.
Engineer Mr. Petko Dokov DOYNOV, Chief Engineer of the Department
of Sea and Water Transport, Ministry of Transport.

Cameroun

Mr. Charol SAGUEZ, Chief Administrator (Second Class) of the
Shipping Administration.

カナダ

連合王国駐在カナダ高等弁務官 ジョージ・A

・ドルー

運輸省海運局長 アラン・カミン

中華民国

イラン駐在中華民国大使 呉南如

キューバ共和国

チェコスロヴァキア共和国

ロンドン駐在チェコスロヴァキア特命全權大

使 ミロスラフ・ガルージュカ

デンマーク王国

王室貿易省海運局長 ヨルゲン・ウォルム

王室貿易省課長代理 アンデルス・バック

ドミニカ共和国

ロンドン駐在ドミニカ特命全權大使、ドクトル

エクトル・ガルシアリゴドイ

フィンランド共和国

航行庁首席船舶検査官 ヴォルマリ・セルツケ

フランス共和国

海運局長 ギルベール・グランヴァル

ドイツ連邦共和国

ロンドン駐在ドイツ連邦共和国特命全權大使

ハンス・ヘルヴァルツ・フォン・ビッテンフェル

ト

Canada

His Excellency the Honourable George A. DREW, High Commissioner for Canada in the United Kingdom.

Mr. Alan CUMYRN, Director, Marine Regulations, Department of Transport, Ottawa.

The Republic of China

His Excellency Mr. Nan-Ju WU, Ambassador of the Republic of China to Iran.

The Republic of Cuba

The Czechoslovak Republic

His Excellency Mr. Miroslav GALUŠKA, Czechoslovak Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at London.

The Kingdom of Denmark

Mr. Jørgen WORM, Head of Shipping Department, Royal Ministry of Trade.

Mr. Anders BACHE, Deputy Head of Section, Royal Ministry of Trade.

The Dominican Republic

His Excellency Señor Dr. Héctor GARCIA-GODOY, Dominican Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at London.

The Republic of Finland

Mr. Volmari SARKKÄ, Chief Ship Surveyor at Board of Navigation.

The French Republic

Mr. Gilbert GRANDVAL, Secretary-General of the Merchant Marine.

The Federal Republic of Germany

His Excellency Herr Hans HERWARTH VON BITTENFELD, G.C.V.O., Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Federal Republic of Germany at London.

Herr Dr. Karl SCHUBERT, Head of Shipping Department, Federal Ministry of Transport.

連邦運輸省海運局長、ドクトル カルル・シェーパート

ギリシャ王国

海運省局長、船長 パナイヨティス・S・パゴニス

ニス

ハンガリー人民共和国

ロンドン駐在ハンガリー人民共和国公使 ヘーラ・シラージ

アイスランド共和国

海運局長 ハルマール・R・バルダルソン

海運局次長 ポール・ラグナルソン

インド共和国

運輸通信省次官 R・L・グプター

アイルランド

ロンドン所在アイルランド大使館参事官 ヴァレンティン・イレモンガー

イスラエル国

運輸通信省法律顧問、ヘブライ大学（エルサレム）講師 アイゼック・ヨセフ・シンツ

ロンドン所在イスラエル大使館一等書記官 モシュ・オフエル

イタリア共和国

海運省局長、ドクトル フェルナンド・ギリャ

日本国

ロンドン所在日本国大使館特命全権公使 中川

The Kingdom of Greece

Captain Panayiotis S. PAGONIS, R.H.P.C., Director, Ministry of Mercantile Marine.

The Hungarian People's Republic

His Excellency Mr. Béla SZILAGYI, Minister of the Hungarian People's Republic at London.

The Republic of Iceland

Mr. Hálmarr R. BARDARSON, Director of Shipping.
Mr. Páll RAGNARSSON, Deputy Director of Shipping.

The Republic of India

Mr. R. L. GUPTA, Secretary to the Government of India, Ministry of Transport and Communications.

Ireland

Mr. Valentin IREMONGER, Counsellor, Embassy of Ireland, London

The State of Israel

Mr. Isaac Josef MINTZ, Legal Adviser, Ministry of Transport and Communications; Lecturer, Hebrew University, Jerusalem.

Mr. Moshe OFER, First Secretary, Embassy of Israel, London.

The Italian Republic

Dr. Fernando GHIGLIA, General Director, Ministry of Merchant Marine, Rome.

Japan

Mr. Toru NAKAGAWA, Minister Plenipotentiary, Embassy of Japan,

融

運輸省船舶局長 水品政雄

大韓民国

ロンドン所在韓国大使館参事官 朴東鎮

クウェイト

クウェイト港事務局長 モハマッド・クワバザ

ード

リベリア共和国

ロンドン駐在リベリア特命全權大使 ジョージ

・T・ブリューワー(ジュニア)

法務次官補 エドワード・R・ムーア

ロイド船級協会次席船舶検査員 ジョージ・ブ

ッカナン

造船技師、造機技師、検査員 E・B・マック

クロハン(ジュニア)

メキシコ合衆国

オランダ王国

海運検査長官、王室海軍大佐(退役) C・ム

ーレンブルホ

海運検査長官技術顧問、造船技師 E・スミッ

ト・FZN

ニュー・ジールランド

海事大臣 ウィリアム・アーサー・フォックス

海事省首席船舶検査官 ヴィクター・ジョージ

一九六〇年海上人命安全条約

London.

Mr. Masao MIZUSHINA, Director, Ship Bureau, Ministry of Transportation.

The Republic of Korea

Mr. Tong Jin PARK, Counsellor, Embassy of Korea, London.

Kuwait

Mr. Mohammad QABAZARD, Director General, Port of Kuwait.

The Republic of Liberia

His Excellency Geo. T. BREWER, Jr., Liberian Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at London.
The Honourable Edward R. MOORE, Assistant Attorney-General of Liberia.

Mr. George BUCHANAN, Assistant Chief Ship Surveyor, Lloyd's Register of Shipping.
Mr. E. B. MCCROHAN, Jr., Architect, Marine Engineer and Surveyor.

The United Mexican States

The Kingdom of the Netherlands

Captain C. MOOLENBURGH, R.N.N. (Retd.), Inspector-General of Shipping.
Mr. J. E. SMIT, Fzn., Naval Architect, Technical Adviser to the Inspector-General of Shipping.

New Zealand

Mr. William Arthur FOX, Minister of Marine.
Mr. Victor George BOIVIN, Chief Surveyor of Ships, Marine Department.

・ボイヴィン

ノールウェー王国

王室通商海運省海運航行検査長官、船長 K.

J・ヌーベルト・ウィー

王室通商海運省部長 モドルフ・ハレイド

パキスタン

連合王国駐在高等弁務官、陸軍中將 モハメッ

ド・ユスフ

パナマ共和国

パナマ共和国海運局長 ホエル・メディナ

ペルー共和国

ロンドン駐在特命全權大使、ドクトル リカル

ド・リベラ・シュレイベル

フィリピン共和国

関税長官 エル・テリオ・カバパス

関税局船体ボーラ検査部長、技師 アガステイ

ン・マタイ

関税局首席法律顧問、弁護士 カシミロ・カル

ワグ

ポーランド人民共和国

海運省行政委員 ルドヴィク・シマンスキ

ポーランド船舶登録局長 ウラジスラフ・シレ

フスキ

ポルトガル共和国

ロンドン駐在ポルトガル特命全權大使、陸軍大

The Kingdom of Norway

Captain K. J. NEUBERTH WIE, Inspector-General of Shipping and Navigation, Royal Ministry of Commerce and Shipping.

Mr. Modolv HAREIDE, Chief of Division, Royal Ministry of Commerce and Shipping.

Pakistan

His Excellency Lieut-General Mohammed YOUSUF, High Commissioner for Pakistan in the United Kingdom.

The Republic of Panama

Mr. Joel MEDINA, Chief of Shipping Direction of the Republic of Panama.

The Republic of Peru

His Excellency Señor Dr. Don Ricardo RIVERA SCHREIBER, K.B.E., Peruvian Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at London.

The Republic of the Philippines

Commissioner Eleuterio CAPAPAS, Commissioner of Customs, Engineer Agustin MATHAY, Chief, Hull and Boiler Inspection Division, Bureau of Customs. Attorney Casimiro CALUAG, Chief Legal Counsel, Bureau of Customs.

The Polish People's Republic

Mr. Ludwik SZYMANSKI, Member of the Board of the Ministry of Shipping. Mr. Wladyslaw MILEWSKI, Director of Polish Shipping Register.

The Portuguese Republic

His Excellency General Adolfo ABRANCHES PINTO, Portuguese Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at London.

将 アドルフォ・アブランシエス・ピント

海運検査長官、漁業委員会造船技師、海軍中佐

ジョアキン・カルロス・エステヴェス・カルドー

ゾ

首席電気無線検査官、電気技師、海軍少佐

アントニオ・J・ペロ・デ・カルヴァリーヨ

首席航行安全検査官、水路技師、海軍少佐

ヌエル・アントゥネス・ダ・モタ

スペイン国

スウェーデン王国

海運航行庁長官、ドクトル カール・ヨスタ

ウィーデル

スイス連邦

ロンドン駐在スイス特命全權大使 アルミン・

デニカー

ソヴィエト社会主義共和国連邦

ロンドン駐在ソヴィエト社会主義共和国連邦特

命全權大使 アレクサンドル・A・ソルダートフ

ソヴィエト社会主義共和国連邦海運省参与、船

長 アレクサンドル・A・サヴェリエフ

アラブ連合共和国

港務燈台局次長、海軍中佐（退役） アドナン

・ ロースタン

一九六〇年海上人命安全条約

Commander Joaquin Carlos ESTEVES CARDOSO, Inspector-General of the Merchant Marine, Naval Architect to the Head Commission on Fisheries.

Lieut.-Commander Antonio J. BELO DE CARVALHO, Electrical Engineer, Chief Surveyor for Electrical and Radio Installations.

Lieut.-Commander Manuel ANTUNES DA MOTA, Hydrographical Engineer, Chief Surveyor for Safety of Navigation.

The State of Spain

The Kingdom of Sweden

Dr. Carl Gösta WIDELL, Director General of the National Board of Shipping and Navigation.

The Swiss Confederation

His Excellency Mr. Armin DAENIKER, Swiss Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at London.

The Union of Soviet Socialist Republics

His Excellency Mr. Alexander A. SOLDATOV, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Union of Soviet Socialist Republics at London.

Captain Alexander A. SAVELIEV, Member of the Board of the Ministry of Merchant Marine of the Union of Soviet Socialist Republics.

The United Arab Republic

Comm. (Retd.) Adnan LOUSTAN, Deputy Director General, Ports and Lighthouses Administration.